

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2002年 7月 8日
Date of Application:

出願番号 特願 2002-198988
Application Number:

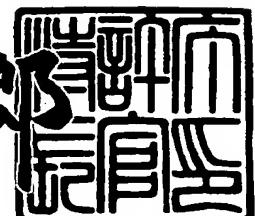
[ST. 10/C] : [JP 2002-198988]

出願人
Applicant(s): 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
ヒューレット・パッカード・カンパニー

2003年 7月 8日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田 信一



【書類名】 特許願

【整理番号】 14-0002

【提出日】 平成14年 7月 8日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/30

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 株式会社エヌ
・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 町田 基宏

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 株式会社エヌ
・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 磯 俊樹

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 株式会社エヌ
・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 片桐 雅二

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 株式会社エヌ
・ティ・ティ・ドコモ内

【氏名】 杉村 利明

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区高井戸東3丁目29番21号 日本ヒュー
レット・パッカード株式会社内

【氏名】 清水 英則

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区高井戸東3丁目29番21号 日本ヒュー
レット・パッカード株式会社内

【氏名】 菅原 太郎

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区高井戸東3丁目29番21号 日本ヒューレット・パッカード株式会社内

【氏名】 鵜飼 文敏

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区高井戸東3丁目29番21号 日本ヒューレット・パッカード株式会社内

【氏名】 坊野 博典

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区高井戸東3丁目29番21号 日本ヒューレット・パッカード株式会社内

【氏名】 湯浅 敬

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区高井戸東3丁目29番21号 日本ヒューレット・パッカード株式会社内

【氏名】 マーク マッキーチャン

【発明者】

【住所又は居所】 東京都杉並区高井戸東3丁目29番21号 日本ヒューレット・パッカード株式会社内

【氏名】 中川 真也

【特許出願人】

【識別番号】 392026693

【氏名又は名称】 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

【特許出願人】

【識別番号】 398038580

【氏名又は名称】 ヒューレット・パッカード・カンパニー

【代理人】

【識別番号】 100088155

【弁理士】

【氏名又は名称】 長谷川 芳樹

【選任した代理人】

【識別番号】 100092657

【弁理士】

【氏名又は名称】 寺崎 史朗

【選任した代理人】

【識別番号】 100114270

【弁理士】

【氏名又は名称】 黒川 朋也

【選任した代理人】

【識別番号】 100108213

【弁理士】

【氏名又は名称】 阿部 豊隆

【選任した代理人】

【識別番号】 100113549

【弁理士】

【氏名又は名称】 鈴木 守

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 014708

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報提供制御システム及び情報提供制御方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、

商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理するチケット格納管理手段と、

ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付手段と、

ユーザの嗜好情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段と、

前記要求受付手段による受け付けにより得られたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段に実行させる検索制御手段と、

前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読み出し手段と、

前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得手段と、

前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御手段と、

を備え、

前記チケットは、当該チケットに含まれた情報の提示が許可されるユーザの条件を表す許可条件情報を含み、

前記提示制御手段は、

前記受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報と前記チケットに含まれた許可条件情報に基づいて、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示を許可するか否かを判断し、提示を許可する場合に当該ユーザへの提示を行う、ことを特徴とする情報提供制御システム。

【請求項 2】 嗜好に関して共通性を持つ複数のユーザの集団により運営される情報交換のためのシステムとしてのコミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段と、

前記サービス提供者となり当該ユーザのアクセス先アドレスの情報提供を希望する前記登録されたユーザからの、当該ユーザの嗜好に関連する商品に付与されたコードと当該ユーザのアクセス先アドレスとを含むチケットの登録要求を受け付け、前記チケット格納管理手段に当該チケットの登録を要求するチケット登録要求手段と、

をさらに備え、

前記チケット格納管理手段は、

前記チケットの登録要求に基づいて、前記コードと前記アクセス先アドレスとを含む新たなチケットを登録する、

ことを特徴とする請求項 1 記載の情報提供制御システム。

【請求項 3】 嗜好に関して共通性を持つ複数のユーザの集団により運営される情報交換のためのシステムとしてのコミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段と、

前記登録されたユーザからの当該ユーザの嗜好に関連する商品に関するチケットの情報提示要求を受け付け、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示が許可されるように、当該ユーザのユーザ情報が当該チケットに関する許可条件情報に対応するよう前記ユーザ情報記憶手段に記憶された当該ユーザのユーザ情報を更新するユーザ情報管理手段と、

をさらに備えた請求項1記載の情報提供制御システム。

【請求項4】 サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理するチケット格納管理手段と、ユーザの嗜好情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段と、を備えた情報提供制御システムにて実行される情報提供制御方法であって、

ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付工程と、

前記受け付けにより得られたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段に実行させる検索制御工程と、

前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読み出し工程と、

前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得工程と、

前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御工程とを有し、

前記チケットは、当該チケットに含まれた情報の提示が許可されるユーザの条件を表す許可条件情報を含み、

前記提示制御工程では、

前記受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報と前記チケットに含まれた許可

条件情報とに基づいて、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示を許可するか否かを判断し、提示を許可する場合に当該ユーザへの提示を行う、ことを特徴とする情報提供制御方法。

【請求項 5】 前記情報提供制御システムが、嗜好に関して共通性を持つ複数のユーザの集団により運営される情報交換のためのシステムとしてのコミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段をさらに備え、

前記サービス提供者となり当該ユーザのアクセス先アドレスの情報提供を希望する前記登録されたユーザからの、当該ユーザの嗜好に関連する商品に付与されたコードと当該ユーザのアクセス先アドレスとを含むチケットの登録要求に基づいて、前記チケット格納管理手段に当該チケットの登録を要求する登録要求工程と、

前記チケット格納管理手段により、前記チケットの登録要求に基づいて、前記コードと前記アクセス先アドレスとを含む新たなチケットを登録するチケット登録工程と、

をさらに有することを特徴とする請求項 4 記載の情報提供制御方法。

【請求項 6】 前記情報提供制御システムが、嗜好に関して共通性を持つ複数のユーザの集団により運営される情報交換のためのシステムとしてのコミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段をさらに備え、

前記登録されたユーザからの、当該ユーザの嗜好に関連する商品に関するチケットの情報提示要求に基づいて、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示が許可されるように、当該ユーザのユーザ情報が当該チケットに関する許可条件情報に対応するよう前記ユーザ情報記憶手段に記憶された当該ユーザのユーザ情報を更新するユーザ情報更新工程をさらに有することを特徴とする請求項 4 記載の情報提供制御方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、複数業種を横断的に連携させユーザにサービス情報を提供する情報提供制御システム及び情報提供制御方法に関する。特に、本発明は、コミュニティ（即ち、嗜好に関して共通性を持つ複数のユーザの集団）に属するユーザからの情報提示及び当該ユーザによる情報取得を支援することに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、ネットワーク上で構築運営されるコミュニティとしては、コミュニティを運営する1つのサーバ等のシステムにアクセス／ログインし、そのサーバの中で情報交換を行うものと、分散したサーバの相互接続により各々のサーバでの情報発信を連携させるものとがあった。

【0003】

このうち、1つのサーバにより形成されるコミュニティでは、アクセスが集中して一時的に過負荷状態となるおそれがある等のシステム資源の制約があるという問題がある。これに対し、分散した複数のサーバに情報を分散させ、相互接続させるコミュニティでは、システム資源の制約を受けることは少ない。

【0004】

但し、後者のコミュニティ（分散した複数のサーバによる情報発信型のコミュニティ）は、システムの相互接続を維持するため、予め連携する複数のシステム間の関係をURLのリンクとして用意しておく必要や、または総合的に情報を提供する大手の情報提供者（例えば、ヤフーやニフティ）と提携する必要があった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、情報が絶えず更新されるコミュニティにとって、システムの相互接続を維持するためのリンク情報や提携関係を構築することは極めて煩雑な作業を要するという問題があった。

【0006】

その一方で、コミュニティは、一般的に、不特定多数のユーザへの情報提示を目的とせず、所定の規則の遵守を約束した特定ユーザ（即ち、コミュニティの会員）への情報提示を目的とする。そのため、分散した複数のサーバに情報を分散

させ相互接続させるコミュニティにとっては、提示される情報の内容に応じて、提示を許可するユーザにのみ情報が提示されるようなしくみを構築する必要があった。

【0007】

本発明は上記課題を解決するために成され、その目的は、複数業種を横断的に連携させユーザにサービス情報を提供する情報提供制御システム及び情報提供制御方法において、リンク情報や提携関係を構築する手間を削減しつつ、情報の内容に応じて適正なユーザにのみ情報を提示することで、情報発信者及びユーザの便宜を図ることにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明に係る情報提供制御システムは、請求項1に記載したように、サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理するチケット格納管理手段と、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付手段と、ユーザの嗜好情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段と、前記要求受付手段による受け付けにより得られたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段に実行させる検索制御手段と、前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読み出し手段と、前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得手段と、前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サー

ビスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御手段と、を備え、前記チケットは、当該チケットに含まれた情報の提示が許可されるユーザの条件を表す許可条件情報を含み、前記提示制御手段は、前記受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報と前記チケットに含まれた許可条件情報とに基づいて、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示を許可するか否かを判断し、提示を許可する場合に当該ユーザへの提示を行うことを特徴とする。

【0009】

上記情報提供制御システムでは、サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、ユーザの嗜好情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段とが存在し、チケット格納管理手段が、商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び手続きファイルの格納先情報、並びに、商品に関する情報と商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理している。ここで、ユーザが、当該ユーザの識別情報とともにコード及びチケット要求によりチケットを要求すると、要求受付手段が、コード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付け、検索制御手段が、当該コード及びチケット要求に基づいて、当該コードに対応したチケットの検索をチケット格納管理手段に実行させる。

【0010】

チケット格納管理手段が、当該コードに対応したチケットの検索を行うことで、検索結果としてチケットが得られる。ここで、アクセス方法情報読出し手段が、検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出す。また、サービス情報獲得手段が、検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得する。

【0011】

そして、提示制御手段が、上記のチケットに含まれた商品に関する情報、サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する。これにより、ユーザは、所望のコードに対応したチケットに含まれた商品に関する情報、サービスに関する情報、当該チケットに含まれた手続きファイルの格納先情報に基づき読み出されたアクセス方法情報、及び当該チケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスに基づき獲得されたサービス提供内容情報を得ることができる。

【0012】

特に、本発明をコミュニティに適用した場合には、従来のようなリンク情報や提携関係を構築する手間を削減することができ、コミュニティの運営の円滑化を図ることができる。

【0013】

本発明では、このような情報提供制御システムにおいて、上記チケットが、当該チケットに含まれた情報の提示が許可されるユーザの条件を表す許可条件情報を含んでおり、提示制御手段は、受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報をユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報とチケットに含まれた許可条件情報に基づいて、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示を許可するか否かを判断する。そして、提示制御手段は、提示を許可する場合に、当該チケットに含まれた情報を当該ユーザへ提示する。これにより、チケットに含まれた許可条件情報に応じて適正なユーザにのみ、当該チケットに含まれた情報が提示されることになる。

【0014】

以上のように本発明によれば、従来のリンク情報や提携関係を構築する手間を削減しつつ、情報の内容に応じて適正なユーザにのみ情報を提示することで、情報発信者及びユーザの便宜を図ることができる。なお、本発明における「コード」には、例えば、商品を識別するためのコード、商品の販売場所やサービスの提供場所等の場所に関するコード、商品やサービスの内容を宣伝・紹介する動画・静止画等のイメージファイルのコード等が含まれる。

【0015】

また、本発明に係る情報提供制御システムは、請求項2に記載したように、嗜好に関して共通性を持つ複数のユーザの集団により運営される情報交換のためのシステムとしてのコミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段と、前記サービス提供者となり当該ユーザのアクセス先アドレスの情報提供を希望する前記登録されたユーザからの、当該ユーザの嗜好に関連する商品に付与されたコードと当該ユーザのアクセス先アドレスとを含むチケットの登録要求を受け付け、前記チケット格納管理手段に当該チケットの登録を要求するチケット登録要求手段と、をさらに備え、前記チケット格納管理手段は、前記チケットの登録要求に基づいて、前記コードと前記アクセス先アドレスとを含む新たなチケットを登録する構成とすることが望ましい。

【0016】

この場合、ユーザ登録手段は、コミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理しており、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録する。そして、登録されたユーザが、サービス提供者となり、他のユーザへの当該ユーザのアクセス先アドレスの情報提供を希望するに至り、当該ユーザの嗜好に関連する商品に付与されたコードと当該ユーザのアクセス先アドレスとを含むチケットの登録を要求すると、チケット登録要求手段が、当該チケットの登録要求を受け付け、チケット格納管理手段に当該チケットの登録を要求する。チケット格納管理手段は、当該チケットの登録要求に基づいて、当該コードとアクセス先アドレスとを含む新たなチケットを登録する。これにより、この新たなチケットの情報が情報提供制御システムを利用する他のユーザに提示されるようになり、上記ユーザは、コミュニティへのユーザ登録要求を行い、チケットの登録要求を行うだけで、簡単に自己のサービス提供情報を他のユーザに提示するしくみを構築することができる。

【0017】

また、本発明に係る情報提供制御システムは、請求項3に記載したように、嗜好に関して共通性を持つ複数のユーザの集団により運営される情報交換のための

システムとしてのコミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段と、前記登録されたユーザからの当該ユーザの嗜好に関連する商品に関するチケットの情報提示要求を受け付け、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示が許可されるように、当該ユーザのユーザ情報が当該チケットに関する許可条件情報に対応するよう前記ユーザ情報記憶手段に記憶された当該ユーザのユーザ情報を更新するユーザ情報管理手段と、をさらに備えた構成とすることが望ましい。

【0018】

この場合、ユーザ登録手段は、コミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理しており、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録する。そして、登録されたユーザが、当該ユーザの嗜好に関連する商品に関するチケットの情報提示を要求すると、ユーザ情報管理手段は、当該チケットの情報提示要求を受け付け、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示が許可されるように、当該ユーザのユーザ情報が当該チケットに関する許可条件情報に対応するようユーザ情報記憶手段に記憶された当該ユーザのユーザ情報を更新する。

【0019】

これにより、更新後の当該ユーザのユーザ情報と当該チケットに関する許可条件情報とに基づき、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示が許可されることとなり、以後、当該ユーザは、自己が希望したチケットに含まれた情報の提示を受けることができる。このように上記ユーザは、コミュニティへのユーザ登録要求を行い、チケットの情報提示要求を行うだけで、簡単に自己の希望するチケットの情報提示を受けることができる。

【0020】

ところで、上記情報提供制御システムに係る発明は、以下の情報提供制御方法の発明として捉えることもできる。これらの発明は、技術的思想としては同一であるため、同様の作用・効果を奏する。

【0021】

即ち、本発明に係る情報提供制御方法は、請求項4に記載したように、サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理するチケット格納管理手段と、ユーザの嗜好情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段と、を備えた情報提供制御システムにて実行される情報提供制御方法であって、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付工程と、前記受け付けにより得られたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段に実行させる検索制御工程と、前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読み出し工程と、前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得工程と、前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御工程とを有し、前記チケットは、当該チケットに含まれた情報の提示が許可されるユーザの条件を表す許可条件情報を含み、前記提示制御工程では、前記受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報を前記チケットに含まれた許可条件情報とに基づいて、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示を許可するか否かを判断し、提示を許可する場合に当該ユーザへの提示を行うことを特徴とする。

【0022】

また、本発明に係る情報提供制御方法では、請求項5に記載したように、前記情報提供制御システムが、嗜好に関して共通性を持つ複数のユーザの集団により

運営される情報交換のためのシステムとしてのコミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段をさらに備え、前記サービス提供者となり当該ユーザのアクセス先アドレスの情報提供を希望する前記登録されたユーザからの、当該ユーザの嗜好に関連する商品に付与されたコードと当該ユーザのアクセス先アドレスとを含むチケットの登録要求に基づいて、前記チケット格納管理手段に当該チケットの登録を要求する登録要求工程と、前記チケット格納管理手段により、前記チケットの登録要求に基づいて、前記コードと前記アクセス先アドレスとを含む新たなチケットを登録するチケット登録工程とをさらに有することが望ましい。

【0023】

さらに、本発明に係る情報提供制御方法では、請求項6に記載したように、前記情報提供制御システムが、嗜好に関して共通性を持つ複数のユーザの集団により運営される情報交換のためのシステムとしてのコミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段をさらに備え、前記登録されたユーザからの、当該ユーザの嗜好に関連する商品に関するチケットの情報提示要求に基づいて、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示が許可されるように、当該ユーザのユーザ情報が当該チケットに関する許可条件情報に対応するよう前記ユーザ情報記憶手段に記憶された当該ユーザのユーザ情報を更新するユーザ情報更新工程をさらに有することが望ましい。

【0024】

【発明の実施の形態】

以下、図面を用いて本発明の実施の形態を説明する。なお、以下では本発明に係る「コード」は「ID」と称する。また、チケットとは、IDに対応した商品の情報、当該商品に関連したサービス提供に係わるサービス提供者のアドレス、アクセス方法、サービス種別等が記述された情報であり、詳細は図6を用いて後述する。

【0025】

[情報提供制御システムの構成]

図1には、本実施形態に係る情報提供制御システムの全体構成を示す。この図1に示すように、本実施形態に係る情報提供制御システムは、ネットワーク120に接続された又は接続可能とされた以下の構成要素により構成される。即ち、情報提供制御システムは、サービス提供を受けるユーザのパーソナルコンピュータ（P C）、携帯用情報端末（Personal Digital Assistant：P D A）、携帯電話などの端末100と、IDが付与される物に対して新たにID発行依頼を行うID発行依頼者（例えば、新しい商品の開発や製造を行う業者や購入などで商品を手に入れた者等）102と、ID発行を行うID発行機関のグループ103と、チケット登録依頼するチケット登録者104と、チケットの格納管理や検索を行うチケット管理部105と、サービスを仲介してユーザにサービス提供者の候補を提示するとともに、それに係る手続きを代行する手続き処理実施部106と、手続きファイル107と、販売や修理や情報提供などをネットワークを介して行うサービスを提供するサービス提供者108と、個人情報109と、コミュニティを運営するユーザ管理部110と、個人が情報発信するWebページ121、122、123とを含んで構成されている。

【0026】

このうちID発行機関のグループ103は、ID発行を行う機関のグループ103の全体的ID発行規則の管理運営を行うID発行管理機関1031と、ID発行管理機関1031から与えられたID発行規則に基づきIDを発行する複数のID発行機関1032、1033とを含んで構成されている。

【0027】

チケット管理部105は、チケット管理部105へのチケット登録要求の受信や検索結果の送信等を行う送受信部1051と、チケット蓄積する巨大なデータベースである格納部1052と、チケットの検索を行う検索部1053とを含んで構成されている。

【0028】

手続き処理実施部106は、IDに基づくチケット検索結果（複数のチケット）からユーザが求め且つユーザが手続き可能なサービス提供者に関するチケット

を選択するチケットフィルタリング部1061と、チケットに記述された手続きファイル格納先（即ち、サービス提供者へのアクセス方法情報に関する手続きファイル107の格納先情報（サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタともいう））からチケットの手続きファイルを読み出す手続きファイル読み出し部1063と、手続き処理に基づいて手続きを指示する手続き処理指示部1062とを含んで構成されている。

【0029】

手続きファイル107は、手続きに用いるプロトコルや必須な情報（例えば自動車業界が定めたプロトコルである場合、インターネットで一般的に用いられている暗号通信方式や、独自な手続きプロトコル、また手続きに必要な情報の種類に関する情報）が記述されたファイルであり、ネットワーク120を介して誰でも参照できるように公開されている。これによって、新たにサービスを提供するものは、公開されている様々な手続き処理の中から、最適な手続き処理を選び、その手続きファイルの格納先をチケットに記述するだけで利用することが可能になる。なお、手続きファイル107は、セキュリティを確保するため必要に応じて、情報を要求する者の認証を行い、参照を適宜制限する措置をとることも可能とされている。

【0030】

ユーザ管理部110は、ユーザ登録等の情報を送受信する送受信部111と、ユーザ登録しユーザ登録情報を管理するユーザ登録部112と、ユーザ登録の際に当該登録したユーザに関するWebページ等の情報に関するチケットをチケット管理部105に対し登録要求するチケット登録部113と、ユーザ登録の際にユーザの個人情報109を更新する個人情報管理部114とを含んで構成されている。

【0031】

なお、後述の処理で用いられる個人情報109には、名前や住所、趣味や嗜好、所有している物のリスト、手続きできる処理の種類、更には様々なサービス提供者へのアクセス履歴や利用履歴などの情報が含まれており、この個人情報109は、ユーザが端末100に保有してもよいし、ネットワーク内にWebページ1

21、122、123のような形式で保有してもよいし、サービス提供者を紹介し手続きを仲介する手続き実施部106にあってもよい。なお、個人情報109は、図1のように複数箇所に分散して保有してもよい。ただし、その場合、複数箇所の個人情報109は同一の内容であり、個人情報の更新時には全ての個人情報109が、個人情報管理部114により同期をとって更新されるものとする。

【0032】

また、IDを付与された物101は、数字や文字の組合せでできたコードをバーコードや二次元バーコードやRF-IDや赤外タグなどでIDを付与された物（ビンや紙などの物理的な物体や音声ファイルやイメージファイルのような電子的な物体）により構成される。

【0033】

[サービス提供に係る各種の処理]

以下、上記情報提供制御システムにて実行されるサービス提供に係る各種の処理を説明する。

【0034】

[IDの発行機関認定処理及びID発行処理]

図2には、IDの発行機関認定処理及びID発行処理を示す。この図2に示すように、ID発行機関の認定申請を希望する機関は、ID発行管理機関1031にID発行機関になることを認定申請する。ID発行管理機関1031は、申請のあった機関が、充分ID発行管理機関1031が定めたID発行規則やその他の規則を守れるか否かを審査し、その条件を満たすとき、申請のあった機関をID発行機関として認定するとともに、申請のあった機関が発行可能なIDの発行規則を通知する。IDの発行規則の具体例としては、「ID発行機関Aが付与するIDには必ず頭にJANという文字列を付与する」とか、「ID発行機関Bが付与するIDには必ず頭にISBNという文字列を付与する」等が挙げられる。

【0035】

認定されたID発行機関1032、1033等は、ID発行依頼者102から、IDの発行依頼を受けた時、ID発行依頼者102の名前やアドレスや信頼性

を審査（チェック）し、所定の条件を満たす場合に ID発行管理機関1031の定めたID発行規則に従いIDを発行し、そのIDをID発行依頼者102に通知する。このような発行規則を守ることで、同じIDが重複して存在することを防ぐことが可能となるとともに、従来からある様々なID体系を、重複しないコード体系として管理することが可能となる。

【0036】

図3は、ID発行機関認定処理を行わずにIDの重複を避けるID発行処理を説明する図である。この図3に示すように、まず、ID発行機関1032等は、ID発行依頼者102からID発行依頼を受ける都度、ID発行管理機関1031にID発行依頼を行う。ID発行管理機関1031は、ID発行依頼を行ったID発行機関1032等が、ID発行管理機関1031が定めたID発行規則やその他の規則を守れるか否かを審査し、その条件を満たすとき、ID発行依頼を行ったID発行機関1032等に新規IDを発行し、そのIDを通知する。通知を受けたID発行機関1032等は、そのIDをID発行依頼者102に通知し、これにより、ID発行依頼者102は、そのIDを得ることができる。

【0037】

なお、図3で説明したID発行管理機関1031は、全てのID発行を管理運営することが可能な場合に、個別のID発行依頼に対応する形態であり、実質的には当該ID発行管理機関1031がIDを発行する形態である。

【0038】

[チケットの登録・更新処理]

図4は、チケット管理部105によるチケットの登録・更新処理を説明する図である。この図4に示すように、チケット管理部105は、チケット登録者104から、チケット登録依頼を受信する。チケット登録依頼は、一般的にはIDが付与された物（商品）に関するサービスを提供する者（具体的には、ワイン製造者が付与したID=1224のワインを取り扱う輸入代理店）が行うと考えられる。ただし、チケットを第三者的に代行業者（例えば、先の輸入代理店から委託された販売促進企画請負業社）が登録しても良い。チケット登録者104は、チケット管理部105にID、チケット、登録者情報（例えば名称、ネットワーク

上のアドレス等)、チケットの内容を更新する場合には、前回チケットを登録した際に受けたチケットの識別番号(以下「チケットID」という)を送信する。送受信部1051は、受信した登録者情報を審査し、条件を満たす場合には、チケットを格納部1052に格納する。格納部1052は、チケットの内容をチェックし、チケットの形式が正しいか、チケットに記載されている内容に間違いがないか等をチェックする。そして問題が無い場合に、チケットを格納部1052内に蓄積する。そして、格納部1052は、チケットを格納完了した旨のチケット格納完了通知と、格納したチケットのチケットIDとをチケット登録者104へ送信する。このチケットIDは、チケットの内容が変わり更新するときに再度利用される。

【0039】

[チケット検索処理及び手続き処理]

次に、図5を用いて、チケット管理部105で行われるチケット検索処理と、手続き処理実施部106で行われる手続き処理とを説明する。なお、個別の処理の流れについては、図8、図9、図10を用いて後述する。

【0040】

まず、IDが付与された物101からIDを取得したユーザ100は、そのID、サービス提供に必要なチケット要求(最適サービス提供先要求)、及びユーザ情報を手続き処理実施部106の手続き処理指示部1062に送信する。手続き処理指示部1062は「受信したIDが何か?」、また「IDに関連するサービスはどんなものがあるか?」を検索するため、チケット管理部105の送受信部1051に対しIDとチケット要求と要求者情報(手続き処理指示部1062を含む手続き処理実施部106に関する情報)とを送信する。

【0041】

送受信部1051は、IDとチケット要求と要求者情報を受信して、要求者情報をチェックし、問題が無い場合にはIDとチケット要求を検索部1053に送信する。検索部1053は、受け取ったチケット要求の内容に、矛盾等の問題が無いかをチェックし、問題が無い場合に格納部1052にIDとチケット検索要求を送信する。格納部1052は、受け取ったIDとチケット検索要求に基づき

チケットの検索処理を行い、検索で得られたチケットの有効期限をチェックし、有効期限を満たすチケット全てを検索結果として送受信部1051に渡す。検索結果としてのチケットは、手続きファイル読み出し部1063に渡される。

【0042】

手続きファイル読み出し部1063は、受け取ったチケットの各々について、当該チケットに記述された手続きファイル格納先情報に基づいて手続きファイル107から手続き情報を読み出し手続き処理指示部1062に送信する。そして、手続き処理指示部1062は、チケット要求を行ったユーザ100に関する個人情報109及び手続き情報に基づいて、当該ユーザ100が手続き可能か否かを、各チケットについて判断することで、受け取ったチケットから手続き可能なチケットのみを選択する手続き可不可チェックを行う。

【0043】

手続き可能と判断されたチケットについては、手続き処理指示部1062は、サービス提供者108に対して、サービス提供内容詳細問合せ要求を行い、サービス提供詳細内容情報（例えば「フランスワイン販売、問合せID、商品の販売価格は4500円、納品は商品つき次第で約2ヶ月後納品の見込み」等の情報）を、当該サービスに関する手続きファイル107に格納されたアクセス方法に従って獲得する。

【0044】

上記の手続き処理実施部106が行った「チケット管理部105の送受信部1051にIDとチケット要求と要求者情報とを送信して、サービス提供者108に対して、サービス提供内容詳細問合せ要求を行い、サービス提供詳細内容情報を受信する」処理をサービス提供先候補抽出処理501という。このサービス提供先候補抽出処理501は、受信したチケットに記述された情報（ID、商品に関するコメント、サービスに関するコメント等）に基づき繰り返し実行することで、手続き処理指示部1062が獲得するチケット数を増やすことが可能となる。なお、具体的な処理フローは図8及び図9を用いて後述する。

【0045】

その後、チケットファイルタリング部1061は、手続き処理指示部1062か

らチケットを受信し、個人情報109に基づいて、受け取ったチケットの中からユーザが求めているサービス提供先選択候補を絞り込む。例えば、ワインのIDでの検索されたチケットについて、今回要求されたユーザの個人情報に「東京在住」、「趣味が海外旅行」との情報が含まれている場合には、海外旅行に関するチケットや東京在圏のサービス提供者に関するチケットを優先的に上位の候補にする。そして、チケットフィルタリング部1061は、その選択された最適サービス提供先の候補をユーザ100に提示する。ユーザ100は、求めていたサービスがある場合には、そのサービスのサービス提供者108を選択し、サービス処理実施要求を当該サービス提供者108を行う。そして、ユーザ100とサービス提供者108の間で、ユーザ認証等のサービス提供を行う上で必要な契約確認処理が行われ、ユーザ100はサービスの提供を受ける。

【0046】

[チケットの構造]

ここで、図6を用いてチケットの構造を説明する。チケットには以下の(1)～(13)の情報が含まれている。

【0047】

即ち、(1) IDが付与された物であることを特定する数字文字の列であるID。(2) IDに関連した情報やサービスを提供するサービス提供者の接続先(サービス提供先(サービスエンティティポインタ)：例えばネットワーク上のIPアドレスやURL等)。(3)サービスに接続するためのアクセス方法が記されたサービス手続き情報が格納されている先(サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタ：例えばネットワーク上のIPアドレス、URL、ファイル名等)。(4)チケット種別。具体的な例としては、例えば、IDが付与されたものが何であるかを示すID発行依頼者しか発行できないチケットを示す「primary(プライマリ)」と、その物に関連したサービスを提供するために発行した「secondary(セカンダリ)」などがある。(5)IDが付与された物がどのような物かを分類する情報であるオブジェクトカテゴリー(Object Category)。(6)IDが付与された物がどこにあるかを意味する情報であるオブジェクトロケーション(Object Location)。(7)IDが付与された物に関する様々な情報が記載されるオブジェク

トコメント (Object Comments)。(8) IDが付与された物に関連するサービス提供がどのようなサービスに分類するかを示す情報であるサービスカテゴリ (Service Category)。(9) IDが付与された物に関連するサービス提供がどのような場所や地域で行われているかを示す情報であるサービスロケーション (Service Location)。(10) IDが付与された物に関連するサービス提供に関する様々な情報が記載されるサービスコメント (Service Comments)。(11)チケットの登録者に関する情報。(12)チケットの登録されている有効期限。(13)チケット検索して閲覧できる検索者を示すパーミッション情報。

【0048】

チケットに記載されたこれらの情報において、(2)(3)の情報は、様々なサービスに対応できるようにポインタしか持たない構造を持っていることが特徴であり、(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)の情報は、柔軟な検索を可能として、様々なサービスを創造できる構造を持っていることが特徴である。また、(11)(12)の情報はチケットの有効性を確保するための最低限の構造を持っていることが特徴であり、(13)の情報は情報公開の制限を可能とするための構造を持っていることが特徴である。(1)(2)(3)(4)(11)(12)の情報については情報の記述が必須であるが、その他の情報に関しては記述があっても無くても構わない。情報の記述が無い場合は「NULL」と表記する。

【0049】

[チケット登録更新処理の流れ]

次に、図7を用いて、上記のようなチケットを登録更新するためのチケット登録更新処理の流れを説明する。

【0050】

まず、チケット管理部105は、ID、チケット本体、チケットID（初めての登録の場合はNULL）、登録者情報を受信し（図7のS11）、受信したチケット登録者情報を基にチケット登録者の信頼性を評価する（S12）。ここでの信頼性評価には様々な方法を用いることができ、例えば、アカウントとパスワードを用いる方法、時間変化でパスワードを変更する方法、問合せのあったメールアドレスにパスワードを通知する方法等、そのいずれかまたは複数を組み合わせて

チケット登録者を評価する。

【0051】

S12で信頼できないと判断した場合には、受信したチケットを破棄し(S18)、登録要求元にチケット格納を失敗した旨を通知して(S19)、処理を終了する。一方、S12で信頼できると判断した場合には、次に、チケットの内容が正しいか否かを判断する(S13)。ここでチケットの内容が正しいか否かを判断する処理は、チケットの構造が規定の構造に合っているか、チケットの記載されるべき必須項目が記載されているか等をチェックすることで行う。

【0052】

S13でチケットの内容が正しくない場合には、受信したチケットを破棄し(S18)、登録要求元にチケット格納を失敗した旨を通知して(S19)、処理を終了する。一方、S13でチケットの内容が正しい場合には、同じIDかつチケットIDかつ同じ登録者情報であるチケットが既にチケット管理部105に格納されているか否かを判断する処理(チケットIDチェック処理)を行う(S14)。これによりチケットの登録かチケットの更新かを判断する。

【0053】

S14で同じIDかつチケットIDかつ同じ登録者情報であるチケットがチケット管理部105に格納されていない場合には、チケットの登録であると判断し、格納部1052にチケットを蓄積する(S16)。そして、チケットの格納が完了した旨の通知と格納したチケットに関するチケットIDとをチケット登録者104(またはチケット更新者)に通知して(S17)、処理を終了する。

【0054】

一方、S14で同じIDかつチケットIDかつ同じ登録者情報であるチケットがチケット管理部105に格納されている場合には、チケットの更新であると判断し、既に格納されているチケットに、受信した新たなチケットを上書きして蓄積する(S15)。そして、チケットの格納が完了した旨の通知と格納したチケットに関するチケットIDとをチケット登録者104(またはチケット更新者)に通知して(S17)、処理を終了する。なお、この際、同一ID、全てのチケットの項目が同一であるチケットがあるか否かを判断し、全く同じチケットがあ

った場合には、チケットを格納しない方が、データベースの格納容量を有効に利用するためには有効である。

【0055】

[チケット検索処理の流れ]

次に、図8を用いて、チケット格納部及び手続き処理実施部におけるチケット検索処理の流れを説明する。なお、ここでは、処理の主体については図5により前述したため、チケットフィルタリング部1061等ではなく、手続き処理実施部106又はチケット管理部105で総称的に表すものとする。

【0056】

まず、手続き処理実施部106は、ユーザ100からID、チケット要求、ユーザ情報を受信する（図8のS31）。そして、手続き処理実施部106は、ユーザ情報が正しいか否かの判断処理を行う（S32）。ユーザ情報が正しくないと判断した場合には直ちに処理を中断し、ユーザに処理が中断した旨を通知して（不図示）、処理を終了する。

【0057】

一方、S32でユーザ情報が正しいと判断した場合には、図5のサービス提供先候補抽出処理501を実行回数を表す回数Nをゼロ「0」にリセットし（S33）、ID、チケット要求、要求者情報をチケット管理部105へ送信する（S34）。そして、回数Nに1を加え（S35）、サービス提供先候補抽出処理501を行う（S36）。なお、サービス提供先候補抽出処理501については図10を用いて詳細に説明する。サービス提供先候補抽出処理501を終え、IDにより検索したチケットとそのチケットに関するサービス提供内容詳細情報を受信する（S37）。

【0058】

そして、受信したチケットのObject CommentsとService Commentsの項目にIDが記述されているか否かを判断する（S38）。IDが記述されていない場合には、個人情報参照処理を行う（S41）。IDが記述されていた場合には、回数Nが、予め定めたサービス提供先候補抽出処理501の実施回数制限数 α 未満であるか否かを判断する（S39）。回数Nが実施回数制限数 α より大きい又は

等しい場合には個人情報参照処理を行う（S41）。一方、回数Nが実施回数制限数 α 未満である場合には、チケットに記述されたIDを検索対象のIDとし（S40）、再びID、チケット要求、要求者情報をチケット管理部105に送信する（S34）。このように検索対象のIDを置き換えて再びチケットを検索する処理を繰り返すことで、様々なサービス提供者に連携した横断的なサービス提供が可能となる。

【0059】

S41での個人情報参照処理では、個人情報109から、ユーザの状況及びユーザの嗜好、購買傾向、サービスの利用傾向等の個人情報が参照される。そして、個人情報を基に、ユーザに最適なサービス提供先選択処理が実施され（S42）、選択されたサービス提供先の候補は、ユーザの端末に通知される最適サービス提供先提示処理を行う（S43）。

【0060】

その後、ユーザは、提示されたサービス提供先からサービス提供先を選択するか否かを判断し、選択する場合、サービス処理実施要求を送信する。このため、S44では、ユーザからのサービス処理実施要求を受信したか否かにより、サービス提供先が選択されたか否かを判断する。ここで、選択されなかった場合には、直ちに処理を中断し、ユーザに処理が中断した旨を通知して（不図示）、処理を終了する。

【0061】

一方、ユーザからのサービス処理実施要求を受信しサービス提供先が選択されたと判断した場合には、選択されたサービス提供先と接続して（S45）、処理を終了する。これにより、サービス提供先からユーザへサービスが提供されることとなる。

【0062】

[サービス提供先候補抽出処理の流れ]

次に、図9を用いて、サービス提供先候補抽出処理の流れを説明する。

【0063】

手続き処理実施部106にある手続き処理指示部1062は、ID、チケット

要求、要求者情報をチケット管理部105に送信する。この際、ユーザが要求しているサービス種別が既知の場合には、そのサービス種別をチケット管理部105に送信することで、チケットの検索結果の絞込みを予め行うことが可能となる。

【0064】

チケット管理部105の送受信部1051は、手続き処理指示部1062からのID、チケット要求、要求者情報を受信し（図9のS71）、要求者情報が正しいか否かを判断する（S72）。ここで要求者情報が正しくないと判断した場合、直ちに処理を中断するとともに処理が中断した旨を、要求者である手続き処理実施部106に通知して（不図示）、処理を終了する。

【0065】

一方、要求者情報が正しいと判断した場合には、IDとチケット要求を検索部1053に送信する（S73）。検索部1053は、受け取ったチケット要求に矛盾等の問題が無いかをチェックすることで、当該チケットの内容が正しいか否かを判断する（S74）。チケットの内容が正しくない場合には、直ちに処理を中断するとともに処理が中断した旨を、要求者である手続き処理実施部106に通知して（不図示）、処理を終了する。

【0066】

チケットの内容が正しい場合には、検索部1053は格納部1052に対しIDとチケット検索要求を送信する。格納部1052は、受け取ったチケット検索要求に基づきチケットの検索処理を行う（S75）。予めユーザが要求しているサービス種別が検索キーとして指定されている場合には、そのサービス種別情報に基づくフィルタリング検索を行い、チケット抽出処理を行う（S76）。

【0067】

そして、検索により得られたチケットがあるか否かを判断し（S77）、チケットが無かった場合には、直ちに処理を中断するとともに処理が中断した旨を、要求者である手続き処理実施部に通知して（不図示）、処理を終了する。一方、チケットがあった場合には、そのチケットの有効期限等をチェックする処理を行い（S78）、有効期限を満たすチケット全てを、検索結果として送受信部10

51から手続きファイル読み出し部1063に渡す。

【0068】

手続きファイル読み出し部1063は、受け取ったチケット1つ1つを読み出す処理を行い（S79）、そして手続きファイル読み出し処理を行うことで（S80）、その手続き情報を取得する。そして、手続きファイル読み出し処理を未処理の次のチケットがあるか否かを判断し（S81）、未処理のチケットがある場合には、再び読み出し処理（S79）、手続きファイル読み出し処理（S80）を行う。

【0069】

次のチケットが無い場合（全てのチケットの手続きファイルを読み出し終えた場合）は、手続き処理実施部106において、チケット要求を行ったユーザ100が手続き可能か否かを個人情報109に基づいて判断することで、手続き可能なチケットのみを選択する（ユーザが利用可能な手続き処理のチケット選択処理を行う）（S82）。

【0070】

そして、ユーザが手続き可能なチケットがあるか否かを判断し（S83）、手続き可能なチケットがないと判断した場合には、直ちに処理を中断するとともに処理が中断した旨を、要求者である手続き処理実施部106に通知して（不図示）、処理を終了する。

【0071】

一方、S83で、手続き可能なチケットがある場合には、チケット1つ1つを読み出す処理を行い（S84）、サービス提供内容詳細問合せ処理を行う（S85）。そして、サービス提供内容詳細問合せ処理を未処理の次のチケットがあるか否かを判断し（S86）、未処理のチケットがある場合には、再びチケット読み出し処理（S84）、サービス提供内容詳細問合せ処理を行う（S85）。

【0072】

次のチケットが無い場合（全てのチケットのサービス提供内容詳細問合せ処理を終えた場合）、各々のチケットとチケットに関するサービス提供内容詳細情報とを処理の結果として処理を終える。

【0073】**[処理の例の説明]**

次に、図10～図14を用いて、本発明をコミュニティに適用した場合の処理例を説明する。

【0074】

ここでは、チケット管理部105に、ペットフード（IDは4901234petfood232）に関するチケットが3つ登録されており、ユーザ100を、IDとして4901234petfood232が付与された物（ペットフード）101を日常的に購入しているユーザとする。

【0075】

このユーザ100が、IDが4901234petfood232であるチケットのチケット要求をすると、前述のチケット検索処理により、図10（a）～（c）の3つのチケットが検索結果として得られる。

【0076】

図10（a）～（c）に示すように、3つ全てのチケットのID欄には4901234petfood232が記述されている。手続き処理実施部106は、これらのチケットからチケット種別、サービス種別を参照して、ユーザ100に適したサービスを提供するため、最適サービス提供先提示処理を実施する。

【0077】

この最適サービス提供先提示処理の一例を図15に示す。即ち、図15に示すように、まず、ID、サービス提供先提示要求、検索IDを受信し（S101）、IDをキーとして要求者の個人情報を個人情報109より取得するとともに、検索IDに対応するチケットを取得する（S102）。そして、当該要求者の個人情報とチケットのパーミッション情報を照合する（S103）。この照合結果により、提示が許可されるチケットがあるか否かを判定し（S104）、提示が許可されるチケットがある場合は、当該チケットの情報を基にサービス提供先提示画面を作成し当該要求者に提示する（S105）。一方、提示が許可されるチケットが無い場合は、サービス提供先を提示できない旨を当該要求者に提示する（S106）。

【0078】

例えば、図11（a）には、ペットフード愛好会が運営するコミュニティへの会員登録前のAさんの閲覧可能サービス提供先提示画面を示し、図11（b）には、その時のAさんの個人情報を示す。Aさんはコミュニティに未登録であるため、図11（b）のように、Aさんの個人情報においてpetfoodIDが記述されていない状態（petfoodID=NULL）である。このようなAさんが、あるペットフードの包装にpetfoodIDとしての4901234petfood232を見つけ、このpetfoodIDを検索IDとしてサービス提供先提示要求をした場合、上記の図15の処理により、IDが4901234petfood232である図10（a）～（c）の3つのチケットが提示候補となる。

【0079】

しかし、Aさんの個人情報ではpetfoodID=NULLなので、この情報と図10（a）～（c）のチケットそれぞれのパーミッション情報との照合により、結果的にAさんに提示されるサービス提供先情報は、図10（a）のチケットに係るページ（Object Commentsよりペットフードに関する情報発信やペットフード友の会を開催しているページとわかる）のみとなる。即ち、図10（b）、（c）のチケットではパーミッション情報がAさんの個人情報と不一致と判定されるため、ページの閲覧がAさんに許可されない。従って、Aさんに提示された閲覧可能なサービス提供先提示画面には、図11（a）のように、図10（a）のチケットに関する情報だけしか表示されないこととなる。なお、実際の情報へのアクセス時には、要求者に対し別途パスワードなどの認証手続きを行うので、かりに不正な手続き実施部106が、許可を得ていないユーザに対しサービス提供先情報を提示する動作をしても、当該許可を得ていないユーザには実際の情報は提示されない。

【0080】

ここで、図12を用いて、コミュニティの運営を行っているユーザ管理部110におけるユーザ登録処理の流れを説明する。ユーザ管理部110は、ユーザ（例えば、Aさん）100からのユーザ登録要求を送受信部111により受信すると（S91）、ユーザ登録部112により所定のユーザ情報の送信要求をユーザ

100に送信する（S92）。そして、ユーザ100からのユーザ情報を送受信部111により受信すると（S93）、ユーザ登録部112により、受信されたユーザ情報を登録する処理を行う（S94）。

【0081】

このユーザ登録処理を終えると、チケット登録部113が、ユーザ100をコミュニティ形成に参加させるためのユーザ100の情報発信に関するチケットを登録するべく、チケット管理部105に対しチケット登録要求を行う（S95）。これにより、ユーザ100による情報発信のためのページのアドレス等が1つのチケットとしてチケット管理部105に登録されることとなり、上記のチケット検索処理等によって、ユーザ100のページが、コミュニティを形成している他のユーザにより閲覧可能となる。

【0082】

例えば、ユーザ100がAさんの場合、図13に示すようなチケットがチケット管理部105に登録される。ここで、図13のチケットのパーミッション情報には、ペットフード愛好会が運営するコミュニティへの会員に共通の情報である「petfoodID=4901234petfood232」が設定されているため、当該コミュニティの他のユーザは、図13のチケットのパーミッション情報によりAさんのページの閲覧が許可されることとなる。

【0083】

次に、個人情報管理部114は、個人情報109内のユーザ100の個人情報において、コミュニティの会員である旨を示すIDを付与するよう更新処理を行う（S96）。これにより、ユーザ100は、このIDにより、他のコミュニティを形成する参加者の情報発信を閲覧することが可能になる。このように個人情報109内の個人情報は、個人情報管理部114により更新可能とされている。但し、更新時に個人情報管理部114は、更新対象のユーザ100や手続き処理実施部106から更新許可を受けたことを条件として更新を行うものとする。

【0084】

例えば、図14（b）には、登録後におけるAさんの個人情報の例を示す。この図14（b）のように、Aさんはコミュニティにユーザ登録したことで、Aさ

んの個人情報として、petfoodID=4901234petfood232が自動的に追加される。

【0085】

この状態でAさんが、4901234petfood232を検索IDとしてサービス提供先提示要求すると、上記の図15の処理により、IDが4901234petfood232である図10(a)～(c)の3つのチケットが提示候補となるが、上記更新により、Aさんの個人情報としてpetfoodID=4901234petfood232が登録されているため、図10(b)、(c)のチケットではパーミッション情報がAさんの個人情報と一致することとなり、これらチケットに対応したBさんのページ及びCさんのページの閲覧がAさんに許可されることとなる。従って、会員登録後のAさんに提示された閲覧可能なサービス提供先提示画面には、図14(a)のように、図10(a)のチケットに関する情報(ペットフードのWebページ)とともに、図10(b)、(c)のチケットに対応したBさん及びCさんの各ページのリンク情報が表示(各ページへのリンクが形成)される。

【0086】

このように本実施形態によれば、ユーザにとってはコミュニティにユーザ登録することで、チケット登録処理(図12のS95)及び個人情報更新処理(S96)が自動的に実行され、分散した複数のサーバによる情報発信型のコミュニティに参加することができる。また、コミュニティの形成が容易となり、リンク情報や提携関係を構築する雑な手間なく情報発信ページを相互接続することが可能となる。

【0087】

なお、本発明は、コミュニティの運営以外にも、一般的な情報提供の制御に対して適用可能であり、コミュニティへの適用に限定されるものではない。

【0088】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、従来のリンク情報や提携関係を構築する手間を削減しつつ、情報の内容に応じて適正なユーザにのみ情報を提示することで、情報発信者及びユーザの便宜を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施形態である情報提供制御システムの全体構成図である。

【図2】

IDの発行機関認定処理及びID発行処理を説明するための図である。

【図3】

ID発行機関認定処理を行わずにIDの重複を避けるID発行機関のID発行処理を説明するための図である。

【図4】

チケット管理部のチケットの登録・更新処理を説明するための図である。

【図5】

チケット管理部で行われるチケット検索処理と、手続き処理実施部で行われる手続き処理を説明するための図である。

【図6】

チケットの構造を示す図である。

【図7】

チケット登録更新処理の流れ図である。

【図8】

チケット格納部及び手続き処理実施部におけるチケット検索処理の流れ図である。

【図9】

サービス提供先候補抽出処理の流れ図である。

【図10】

(a)～(c)は、ID欄に所定のペットフードのIDが記述されたチケットの検索結果の一例を示す図である。

【図11】

(a)は会員登録前のAさんが閲覧可能なサービス提供先提示画面を示す図であり、(b)は会員登録前のAさんの個人情報を示す図である。

【図12】

コミュニティの運営を行っているユーザ管理部におけるユーザ登録処理の流れ

図である。

【図13】

会員登録に伴って登録されたチケットの一例を示す図である。

【図14】

(a) は会員登録後のAさんが閲覧可能なサービス提供先提示画面を示す図であり、(b) は会員登録後のAさんの個人情報を示す図である。

【図15】

最適サービス提供先提示処理の一例を示す流れ図である。

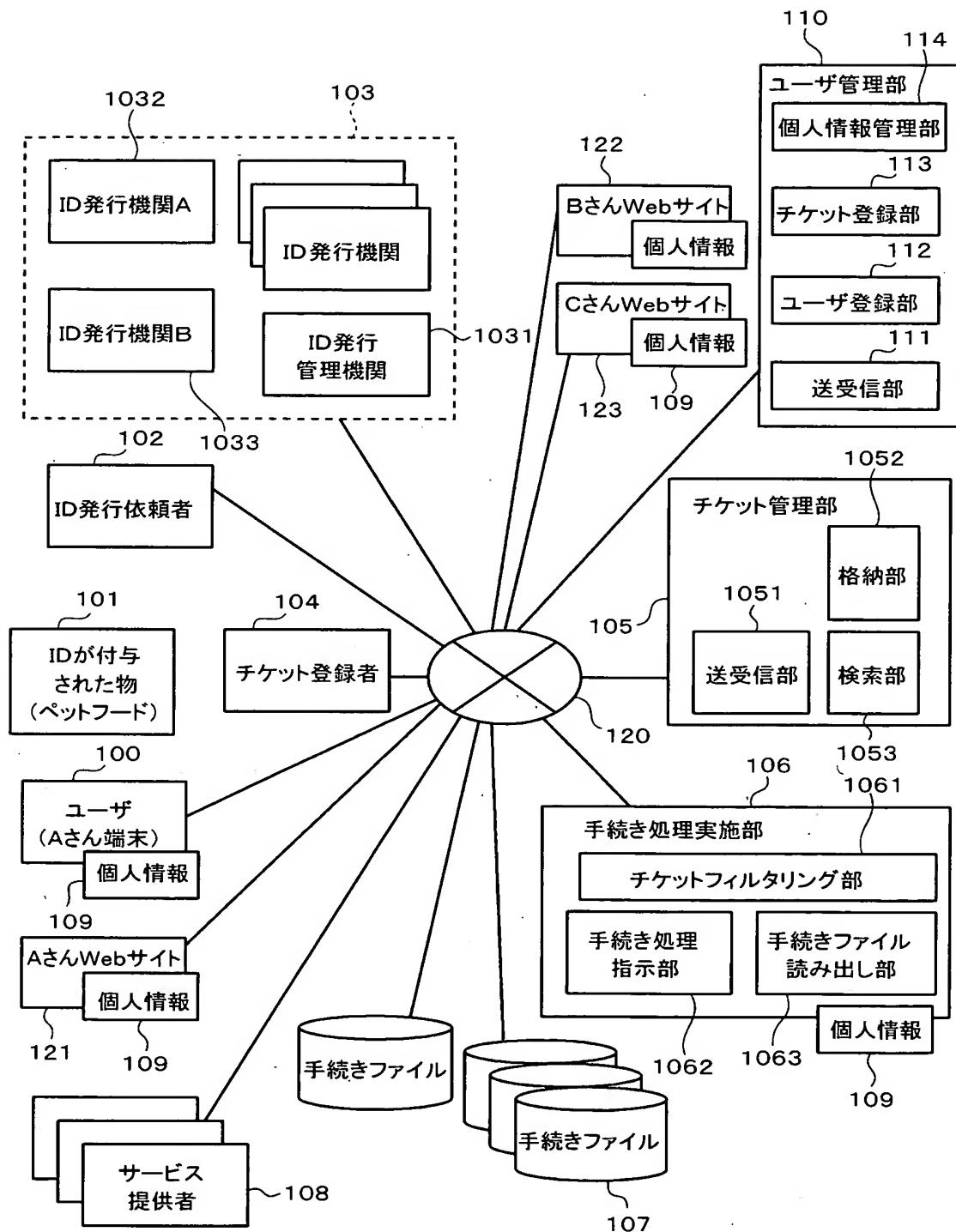
【符号の説明】

100…ユーザ端末、101…IDが付与された物、102…ID発行依頼者、103…ID発行機関のグループ、1031…ID発行管理機関、1032、1033…ID発行機関、104…チケット登録者、105…チケット管理部、1051…送受信部、1052…格納部、1053…検索部、106…手続き処理実施部、1061…チケットフィルタリング部、1062…手続き処理指示部、1063…手続きファイル読み出し部、107…手続きファイル、108…サービス提供者、109…個人情報、110…ユーザ管理部、111…送受信部、112…ユーザ登録部、113…チケット登録部、114…個人情報管理部、120…ネットワーク、121、122、123…Webページ、501…サービス提供先候補抽出処理。

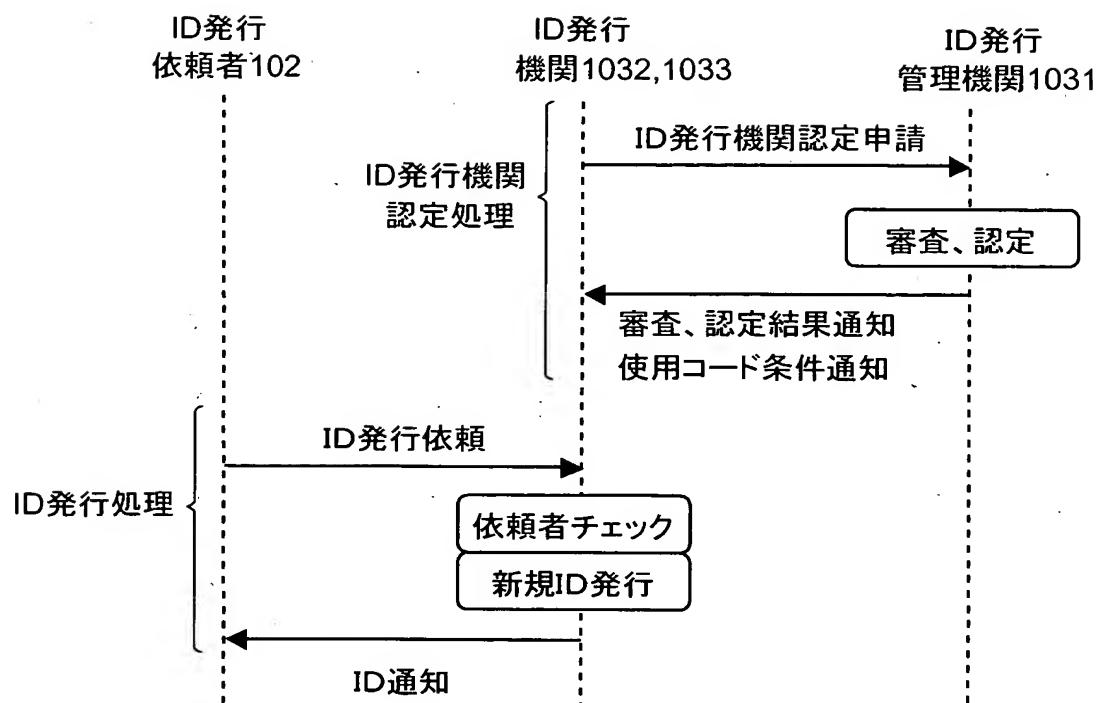
【書類名】

四面

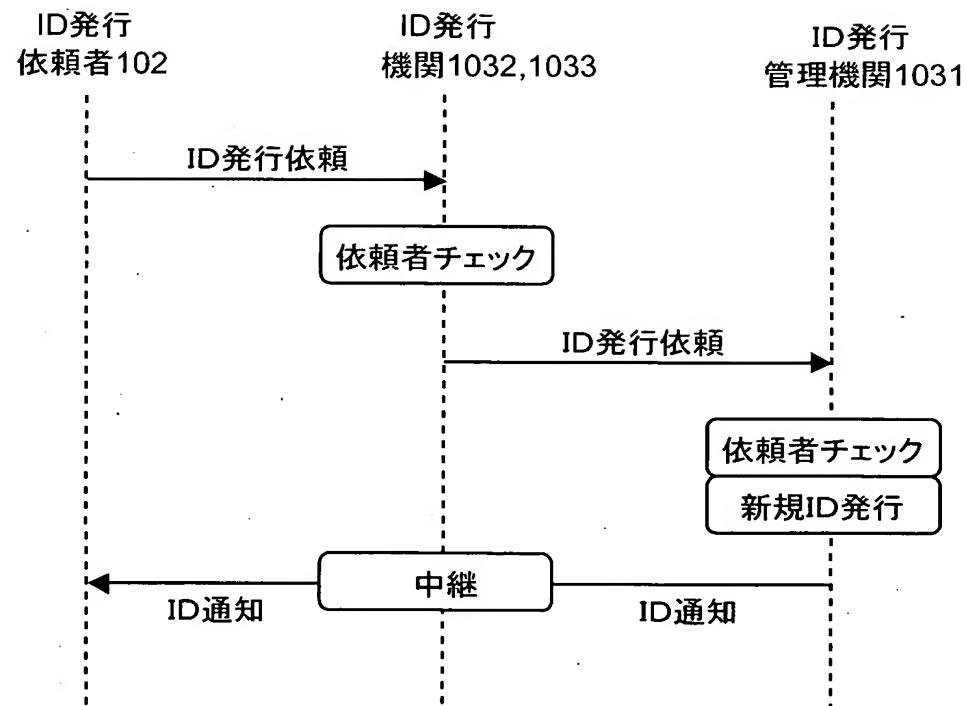
〔圖 1〕



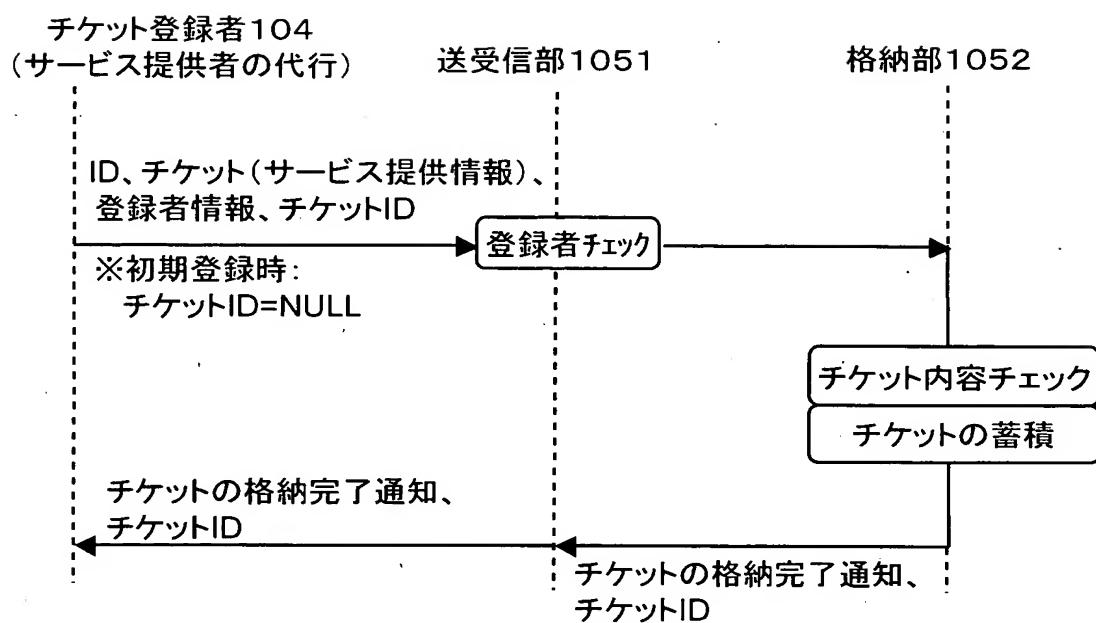
【図2】



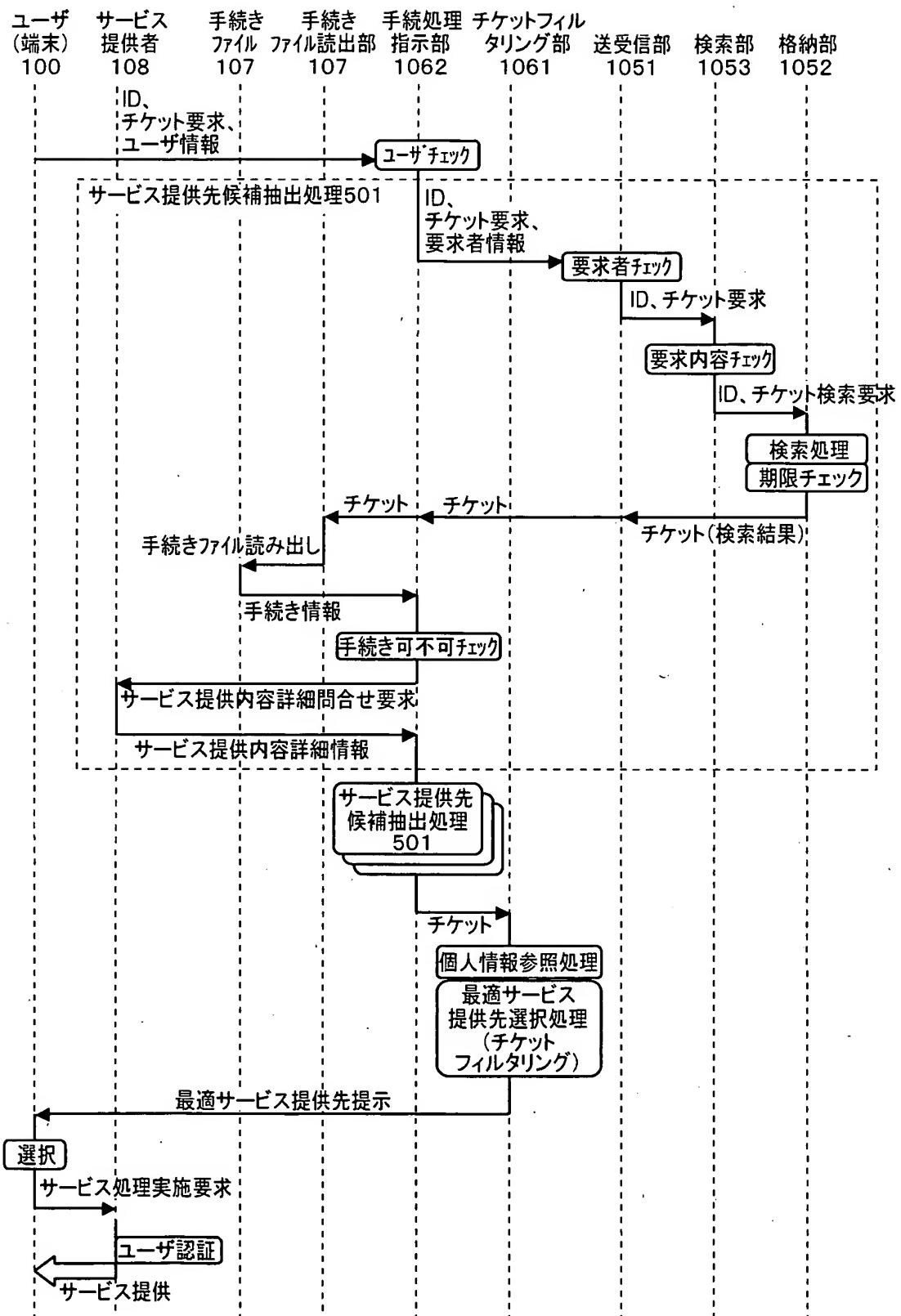
【図3】



【図4】



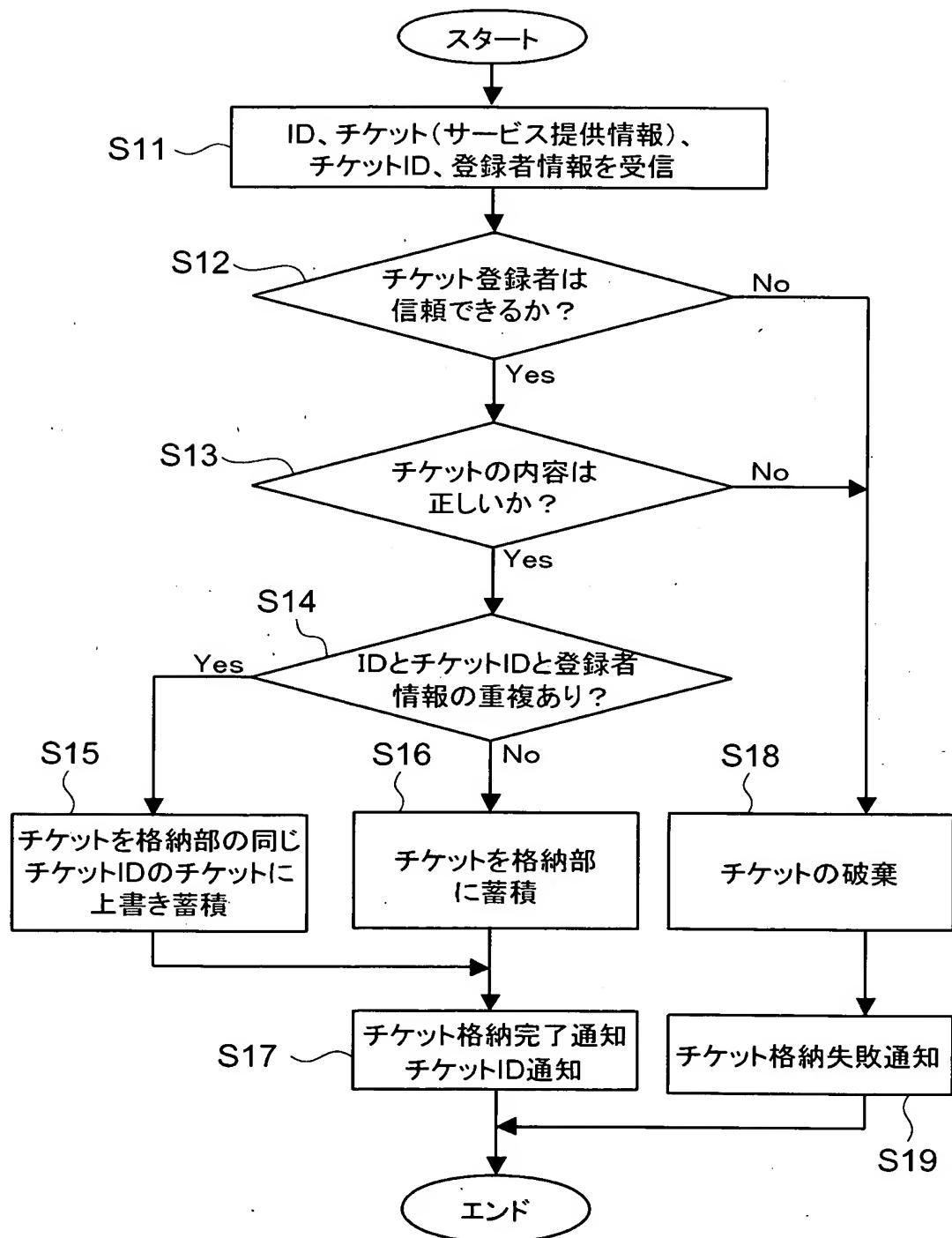
【図 5】



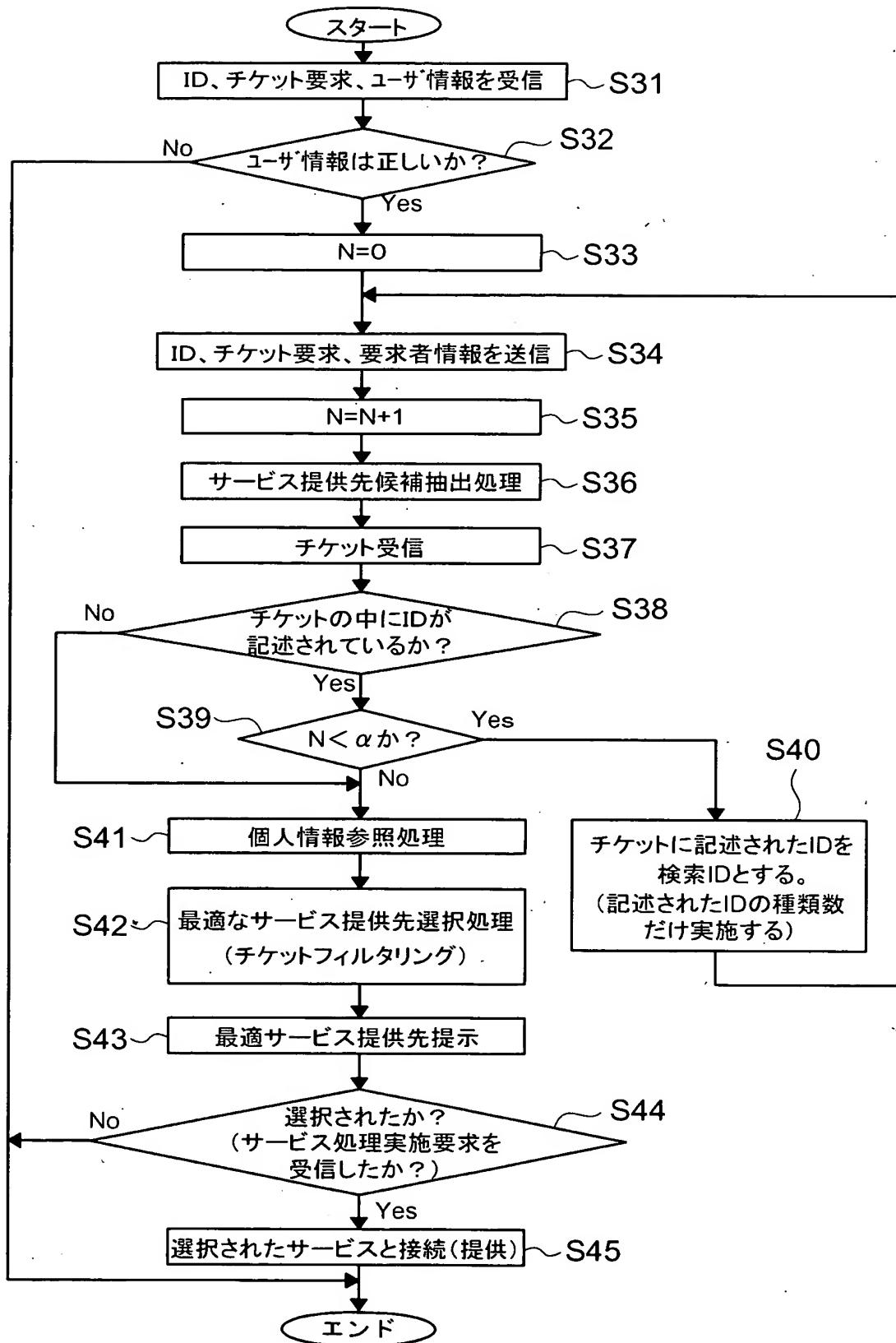
【図6】

(1) ID
(2) サービスエンティティポインタ
(3) サービスエンティティアクセス プロトコル格納先ポインタ
(4) チケット種別
(5) Object Category
(6) Object Location
(7) Object Comments
(8) Service Category
(9) Service Location
(10) Service Comments
(11) チケット登録者情報
(12) チケット有効期限
(13) パーミッション情報

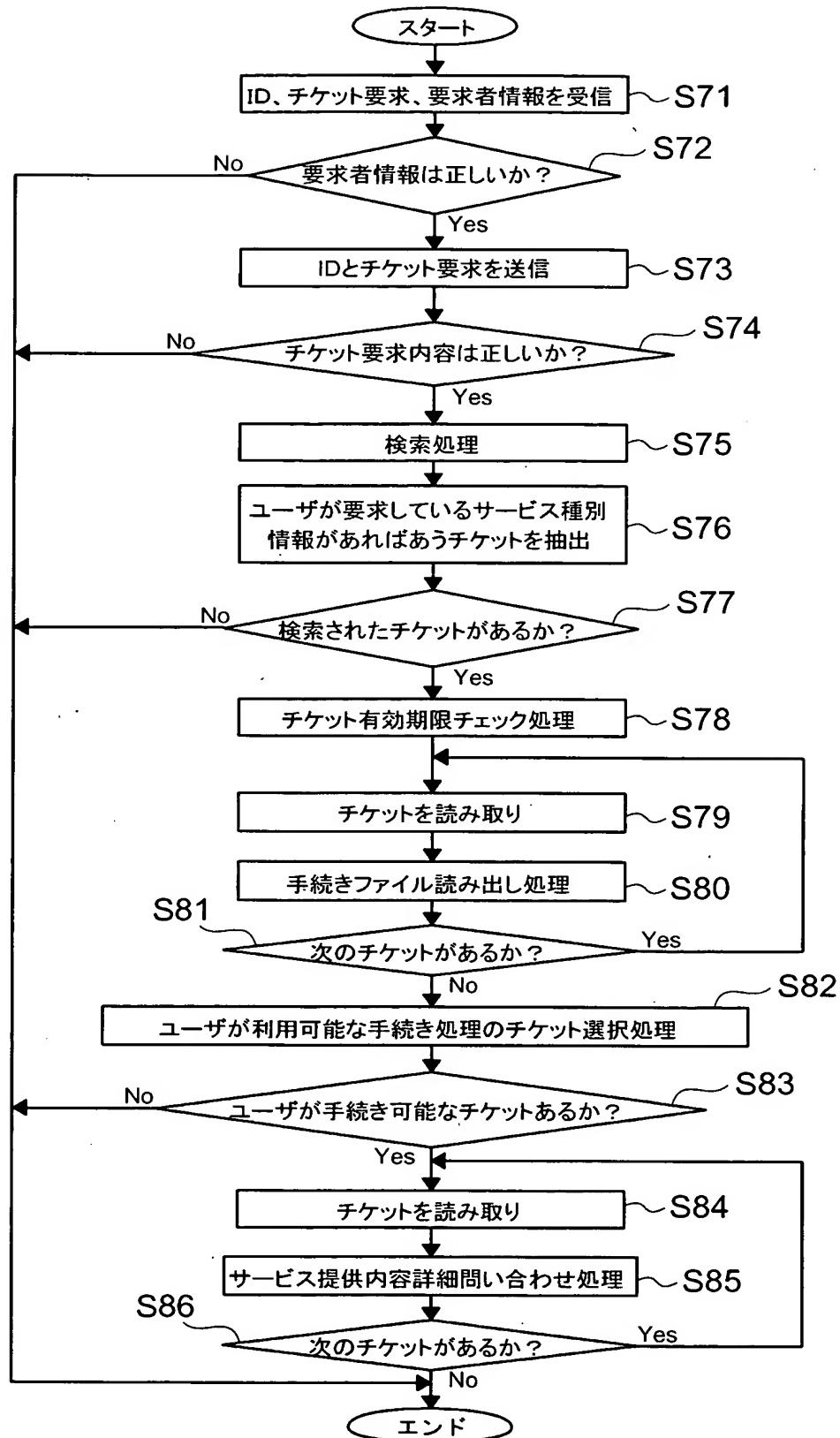
【図 7】



【図8】



【図 9】



【図10】

(a)	ID:4901234petfood232
	サービスエンティティポインタ:URL:petfood.com
	サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタ:http://tetuduki.com/asp1
	チケット種別:primary
	Object Category:ペットフード
	Object Location:NULL
	Object Comments:ペットフード情報、ペットフード友の会会員登録、 友の会掲示板
	Service Category:NULL
	Service Location:NULL
	Service Comments:NULL
	チケット提供者情報:petfood.com@xyz.co.jp
	チケット有効期限:2005年12月31日
	パーミッション情報:all
(b)	ID:4901234petfood232
	サービスエンティティポインタ:URL:xyz.com/B_abc
	サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタ:http://tetuduki.com/asp2
	チケット種別:secondary
	Object Category:ペットフード
	Object Location:NULL
	Object Comments:NULL
	Service Category:NULL
	Service Location:Tokyo
	Service Comments:BさんのWebサイト
	チケット提供者情報:petfood.com@xyz.co.jp
	チケット有効期限:2005年12月31日
	パーミッション情報:DogID=2232 or petfoodID=4901234petfood232
(c)	ID:4901234petfood232
	サービスエンティティポインタ:URL:xyz.com/C_abc
	サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタ:http://tetuduki.com/asp3
	チケット種別:secondary
	Object Category:ペットフード
	Object Location:NULL
	Object Comments:NULL
	Service Category:NULL
	Service Location:Kanagawa
	Service Comments:CさんのWebサイト
	チケット提供者情報:petfood.com@xyz.co.jp
	チケット有効期限:2005年12月31日
	パーミッション情報:DogID=3489 or petfoodID=4901234petfood232

【図11】

(a)

会員登録前のAさんが閲覧可能な
サービス提供先提示画面

検索ID:4901234petfood232

名称等:ペットフード

- ・ペットフード情報閲覧
- ・ペットフード友の会会員登録
- ・友の会掲示板

(b)

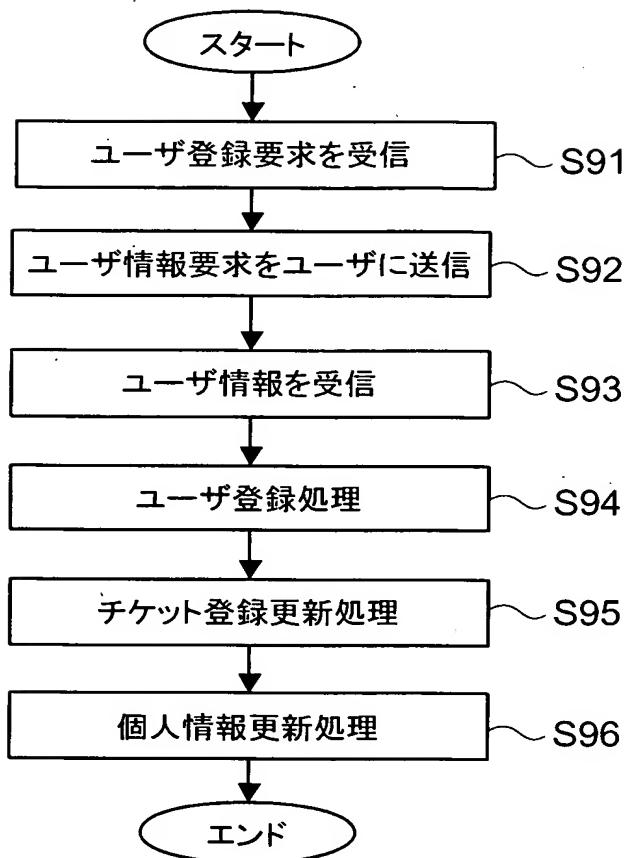
会員登録前のAさんの個人情報

<profile>

DogID=8989

petfoodID=NULL

【図12】



【図13】

ID:4901234petfood232
サービスエンティティポインタ:URL:xyz.com/A_abc
サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタ:http://tetuduki.com/asp4
チケット種別:secondary
Object Category:ペットフード
Object Location:NULL
Object Comments:NULL
Service Category:NULL
Service Location:Tokyo
Service Comments:AさんのWebサイト
チケット提供者情報:petfood.com@xyz.co.jp
チケット有効期限:2005年12月31日
パーミッション情報:petfoodID=4901234petfood232

【図14】

(a)

会員登録後のAさんが閲覧可能な
サービス提供先提示画面

検索ID:4901234petfood232

名称等:ペットフード

- ・ペットフード情報閲覧
- ・ペットフード友の会会員登録
- ・友の会掲示板

①BさんのWebページ
②CさんのWebページ

(b)

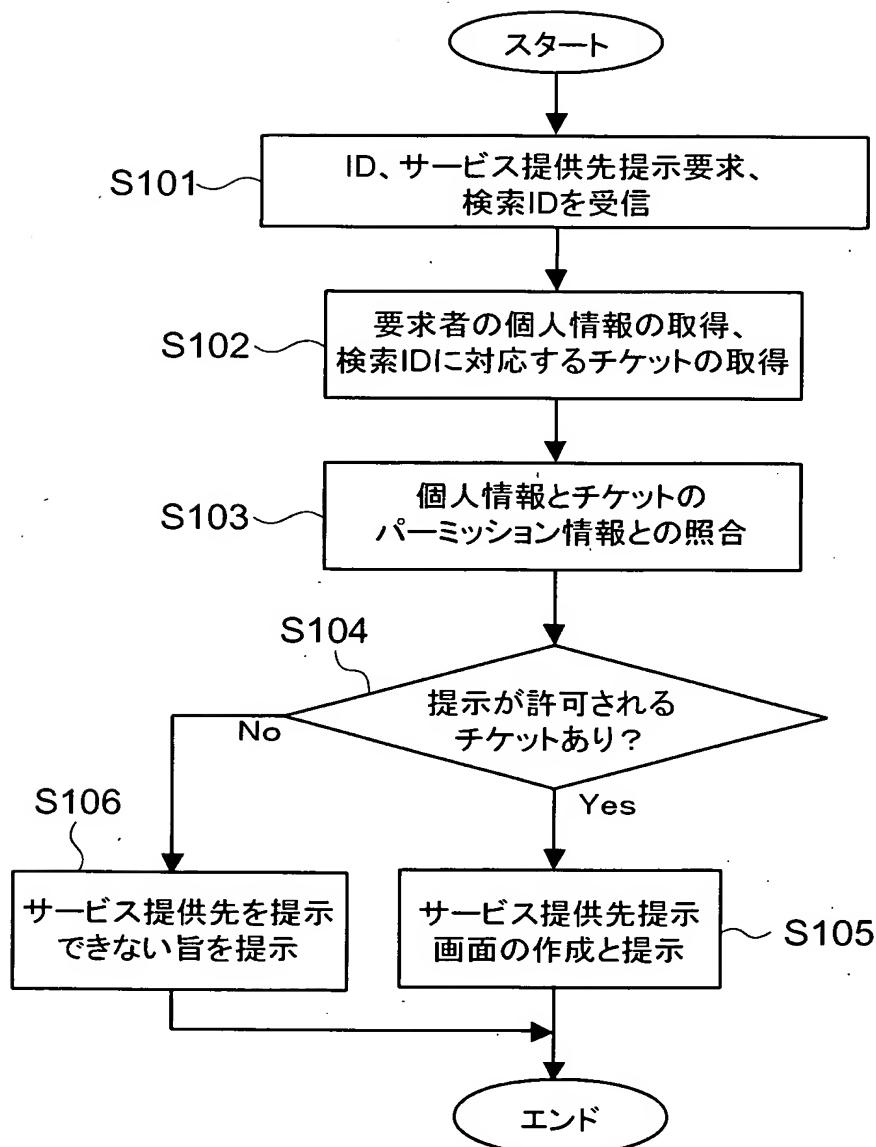
会員登録後のAさんの個人情報

<profile>

DogID=8989

petfoodID=4901234petfood232

【図15】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 リンク情報や提携関係を構築する手間を削減しつつ、情報の内容に応じて適正なユーザにのみ情報を提示することで情報発信者及びユーザの便宜を図る。

【解決手段】 コミュニティへのユーザ登録を希望するユーザからユーザ情報を受信すると（S93）、受信されたユーザ情報を登録し当該ユーザをコミュニティの新規会員とする（S94）。このユーザ登録を終えると、新規ユーザの情報発信に関するチケットを登録するべく、チケット管理部に対しチケット登録要求を行う（S95）。これにより、新規ユーザによる情報発信ページのアドレス等の情報が新たなチケットとして登録され、その新規ユーザのページが他の会員により閲覧可能となる。また、新規ユーザの個人情報に対し、コミュニティの会員である旨を示すIDを付与するよう更新処理を行う（S96）。これにより、新規ユーザは、他の会員のページの閲覧が許可される。

【選択図】 図12

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2002-198988
受付番号	50200998443
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成 14 年 7 月 9 日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】 392026693

【住所又は居所】 東京都千代田区永田町二丁目 11 番 1 号

【氏名又は名称】 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

【特許出願人】

【識別番号】 398038580

【住所又は居所】 アメリカ合衆国カリフォルニア州パロアルト ハ

ノーバー・ストリート 3000

ヒューレット・パッカード・カンパニー

申請人

100088155

【住所又は居所】 東京都中央区銀座二丁目 6 番 12 号 大倉本館

創英国際特許法律事務所

長谷川 芳樹

【選任した代理人】

【識別番号】 100092657

【住所又は居所】 東京都中央区銀座二丁目 6 番 12 号 大倉本館

創英国際特許法律事務所

寺崎 史朗

【選任した代理人】

【識別番号】 100114270

【住所又は居所】 東京都中央区銀座二丁目 6 番 12 号 大倉本館

創英国際特許法律事務所

黒川 朋也

【選任した代理人】

【識別番号】 100108213

【住所又は居所】 東京都中央区銀座二丁目 6 番 12 号 大倉本館

創英国際特許法律事務所

次頁有

認定・付力印青幸良（続巻）

【氏名又は名称】 阿部 豊隆

【選任した代理人】

【識別番号】 100113549

【住所又は居所】 東京都中央区銀座二丁目6番12号 大倉本館
創英國際特許法律事務所

【氏名又は名称】 鈴木 守

次頁無

特願 2002-198988

出願人履歴情報

識別番号 [392026693]

1. 変更年月日 1992年 8月21日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都港区虎ノ門二丁目10番1号
氏 名 エヌ・ティ・ティ移動通信網株式会社

2. 変更年月日 2000年 5月19日
[変更理由] 名称変更
住 所 住所変更
東京都千代田区永田町二丁目11番1号
氏 名 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

特願 2,010-2-198988

出願人履歴情報

識別番号 [398038580]

1. 変更年月日 1998年 5月19日
[変更理由] 新規登録
住 所 アメリカ合衆国カリフォルニア州パロアルト ハノーバー・ス
トリー 3000
氏 名 ヒューレット・パッカード・カンパニー